



日野中だより8号

発行：令和4年9月7日（水）

文責：佐世保市立日野中学校

校長 池田 美祐紀

校訓



学校教育目標

心豊かで活力に満ちた生徒の育成

学びあい 認めあい 支えあい

☆日野中 HP にカラー版を UP しています。鮮明な画像は、そちらをご覧ください。

台風一過で、今日は昨日の台風がうそのような、さわやかなお天気になりました。しかし、大型台風が去った後は、各地で被害が出ており、新聞報道等でその情報を聞く度、心が痛みます。今朝、本校でも子どもたちに災害の聞き取りをしましたが、皆さまのご家庭では被害がなかったとの報告を受け、安心しているところです。本校敷地内でも、グラウンドの横断幕が剥がれた以外は大きな被害はありませんでした。

台風接近時の5日（月）、生徒の下校時間の変更につきましては、急な変更にも関わらずご協力をいただき本当にありがとうございました。保護者の皆さまのご協力のお陰で、子どもたちを安全に下校させることができました。日野中学校は避難所となっているので、今回の台風時も5日17時より体育館が避難所として開設されました。今回は、いつもより多い12名の方が避難されました。今後も災害の危険が予想される時は、躊躇されず、安心してご利用ください。

子どもたちへの安全指導については継続していきますので、ご家庭や地域でも話題にされ、ご指導をお願いいたします。



2学期の抱負

9月2日付けの学校だより（2学期の学校経営）でもお知らせしましたとおり、重点目標第2ステージの期間は、子どもたちを「目標に向かってチャレンジさせる」時期です。

始業式に各学年の代表者が「2学期の抱負」について発表してくれましたが、その中でも「**挑戦する**」ということばが何回も出てきました。それを聞いて、生徒の皆さんも同じ目標を持っていることを知り、私は大変頼もしく思いました。生徒と職員で同じ目標に向かって頑張っていけたら、どんなに素晴らしい学校になるだろうとワクワクしています。校訓のとおり、みんなで学びあい、認めあい、支えあいながら、自分の目標や新しいことにどんどん挑戦していく2学期にしてほしいです。



↑ オンラインでの始業式



1年2組 滝川 大樹

僕は、一学期を過ごして、中学校とは時間や期限厳守が当たり前で、テスト勉強をしても百点はとりにくいことがわかりました。そこで僕は、よりよい学校生活を送るために、学年全員で達成したい2学期の二つの目標を立てました。

一つ目は、毎日のスケジュールを立てて行動することです。スケジュールを立てることで、今何をすべきかがわかり、自分にとって大切な時間を優先することができます。また、僕たち一年生は、2学期は一学期より勉強が難しくなり、部活も本格的になります。だからこそ、学年全体が自分のスケジュールを見直すことが重要だと考えました。そして、勉強においても部活においても有意義な時間を過ごして、自分の力にし、2学期を頑張っていきたいです。

二つ目は、自信を持って挑戦することです。一学期僕は、何かの代表をするとき、自分がやりたくても本当に自分にできるのだろうかと思えず、勇気が出ず、チャンスをのがしたことが何回もありました。しかし、

SCHEDULE



いろんなことに挑戦することは必ず自分の成長につながるはず。それが周りの友達にも広がり、仲間と協力して乗り越えることができれば、全員成長できます。僕は、二学期の一番のイベントとも言える合唱コンクールをはじめ、さまざまなことに挑戦することを忘れない二学期にしていきます。



今言った二つの目標と日野中のスローガン「あいさつ日本一・あきらめない心」、そして学年目標の「仲間と成長する」を意識して過ごしていきます。一年生一人一人が仲間と共に努力し、また一步、集団の力を高めることができるよう頑張ります。



2年2組 佐藤 頼香

私の2学期での抱負は、どんな事にでも思い切り挑戦していくことです。この抱負を持った理由として、何かを達成することの素晴らしさを一学期を通して改めて知ることができたからです。私にとっての一学期は、とても大切な時間になったと思います。

なぜなら、新しいクラスに、初めてできた後輩、そして初めて先輩という立場になった自分、というように沢山の新しい関係を築き、経験を積むことができたと思うからです。ですが、一方で、自分の弱点に気付かされた時間ともなりました。それは、「挑戦する前に、自分を否定してしまっている」ということです。私はすぐ、行動する前に「自分には無理」というように、自分で自分の力を信じられないときがあります。それは、大きな壁を前にしたとき、成功できた未来の自分の姿を思い浮かべる前に、失敗して悔しがる自分の姿を思い浮かべてしまうからだと思います。一学期は、学級委員という役目を務めさせていただきました。そこで学んだ事は、失敗は何も怖い事ではなく、むしろ何かに挑戦した証に変わるという事です。もちろん失敗全てが良い方向へいくとは限りませんが、必ず自分にしかできない経験になると思います。何回失敗しても、立ち上がって前進することができたら、少しずつではあるかもしれませんが、成功につながっていくと思います。

だから私は、何か行動を起こすとき、部活動においても学習面においても、初めから自分を否定するのではなく、小さくてもいいから決意して一步踏み出して思い切り挑戦していきたいと思います。そして、成功にたどり着くまでに自分を支えてくれる多くの人への感謝を成長する糧にして、二学期は、この経験を自信につなげていきたいと思います。



3年2組 前田 夢輝

中学校最終学年となった私たち、三年生にとって二学期は、進路決定や学校行事などたくさんのことが待ち受けています。二学期を迎えるに当たって、頑張りたいことや挑戦したいことが二つあります。

一つ目は、勉強です。まず、自分自身を振り返ってみると、部活動を引退した後、勉強に本気で取り組んでおらず、一学期のテストでは自分が思ったように点数がとれませんでした。残り約5か月で入試を迎えるので、これからは毎日確実に集中して勉強し、一日一日を大切にしていきたいです。明日からは、実力テストがあるので、夏休みで頑張ってきたことを出し切りたいです。また、家庭学習の習慣づけをはじめ、受験に向かう学年・学級の雰囲気づくりなど三年生が一丸となって頑張りたいと思います。

二つ目は、係活動や行事での役割の中で責任をもって取り組み、一・二年生を引っ張っていけるような三年生になることです。私は、一学期、学級委員を務めました。二学期では、クラスのために、学校のために役に立てるような働きができないか、考えて行動していきたいです。